

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第3区分

【発行日】平成24年3月22日(2012.3.22)

【公開番号】特開2011-99106(P2011-99106A)

【公開日】平成23年5月19日(2011.5.19)

【年通号数】公開・登録公報2011-020

【出願番号】特願2010-279729(P2010-279729)

【国際特許分類】

C 08 G 65/329 (2006.01)

C 08 G 77/38 (2006.01)

【F I】

C 08 G 65/329

C 08 G 77/38

【手続補正書】

【提出日】平成23年1月14日(2011.1.14)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

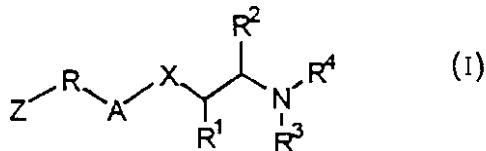
【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)を有する付加物を含む両性イオン。

【化1】



(式中、

Zは両性イオン基であり、

Xはカルボニル基、スルホン基、スルホニウム塩、及びホスホニウム塩から成るグループから選ばれた電子吸引基であり、

Rは、直鎖状及び分岐状アルカンジイル、アルケンジイル、アルキンジイル、シクロアルカンジイル、シクロアルケンジイル、シクロアルキンジイル、アリーレン、アルカリーレン、アラルキレン、アルコキシアリーレン、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアリキル、モノ-及びジ-アルキルアミノアルキル N-アリールアミノアルキル、N-アリール-N-アルキルアミノアルキルであり、

R¹とR²は、水素及びC₁-₆アルキルから成るグループから独立に選択され、

AはOあるいはNR⁶であり[式中、R⁶は水素及びC₁-₆アルキルから成るグループから独立に選択される]、

R³は水素、直鎖状及び分岐状のアルキル、アルケニル、及びアルキニル基、アルコキシカルボニル、アルキルアミノカルボニル、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキニル、ハロアリール、ハロアルキル、アリール、アルカリール、アラルキル、アルコキシアリール、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアリキル、アミノアルキル、モ

ノ - 及びジ - アルキルアミノアルキル、アリールアミノアルキル、N - アリール - N - アルキルアミノアルキル、N - アリール - N - アミノアリール、アシルオキシ、アシルオキシアルキル、アシルアミノアルキル、及びN - ジアシル - イミノアルキル基、モノ - 及びジ - アルキルアミノカルボニル、オルガノシリル、アリールアミノカルボニル、アリール(アルキル)アミノカルボニル、及びオルガノシロキシル基、そして、

反応基、

NHCOOR⁵ 基 [式中、R⁵ は、水素、直鎖状及び分岐状のアルキル、アルケニル、及びアルキニル基、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキニル、ハロアリール、ハロアルキル、アリール、アルカリール、アラルキル、アルコキシアリール、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアルキル、アミノアルキル、モノ - 及びジ - アルキルアミノアルキル、アリールアミノアルキル、N - アリール - N - アルキルアミノアルキル、N - アリール - N - アミノアリール、アシルオキシアルキル、アシルアミノアルキル、及びN - ジアシル - イミノアルキル基、ヒドロキシアルキル、ヒドロキシアルケニル、ヒドロキシアルキニル、ヒドロキシアリール、ヒドロキシアルコキシアルキル、及びヒドロキシ(オリゴアルコキシ)アルキルからなるグループから選択される] 、

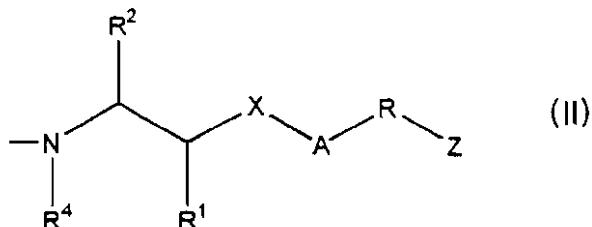
- NHCONR⁷R⁸ 基 [式中、R⁷ と R⁸ とは、水素、直鎖状及び分岐状のアルキル、アルケニル、及びアルキニル基、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキニル、ハロアリール、ハロアルキル、アリール、アルカリール、アラルキル、アルコキシアリール、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアルキル、アミノアルキル、モノ - 及びジ - アルキルアミノアルキル、アリールアミノアルキル、N - アリール - N - アルキルアミノアルキル、N - アリール - N - アミノアリール、アシルオキシアルキル、アシルアミノアルキル、及びN - ジアシル - イミノアルキル基、ヒドロキシアルキル、ヒドロキシアルケニル、ヒドロキシアルキニル、ヒドロキシアリール、ヒドロキシアルコキシアルキル、及びヒドロキシ(オリゴアルコキシ)アルキルからなるグループから選択される] あるいは

重合体のいずれかで置換されたいずれかの上記基からなるグループから選択され、

R⁴ は、水素、直鎖状及び分岐状のアルキル、アルケニル、及びアルキニル基、アルコキシカルボニル、アルキルアミノカルボニル、シクロアルキル、シクロアルケニル、シクロアルキニル、ハロアリール、ハロアルキル、アリール、アルカリール、アラルキル、アルコキシアリール、アルコキシアルキル、オリゴアルコキシアルキル、アミノアルキル、モノ - 及びジ - アルキルアミノアルキル、アリールアミノアルキル、N - アリール - N - アルキルアミノアルキル、N - アリール - N - アミノアリール、アシルオキシアルキル、アシルアミノアルキル、及びN - ジアシル - イミノアルキル基、ヒドロキシアルキル、ヒドロキシアルケニル、ヒドロキシアルキニル、ヒドロキシアリール、ヒドロキシアルコキシアルキル、及びヒドロキシ(オリゴアルコキシ)アルキルからなるグループから選択される] あるいは

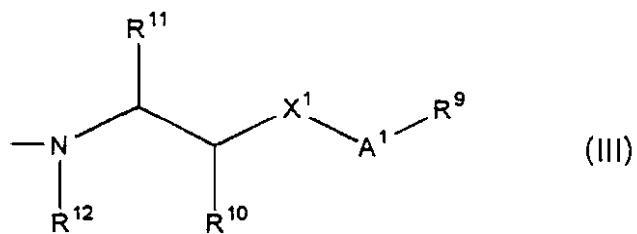
グループ I I

【化 2】



[式中、R、R¹、R²、R⁴、Z、A は式 (I) におけるものと同じである] 、グループ I I I

【化3】



[式中、 A^1 は O あるいは $N R^{1\sim 3}$ (式中 $R^{1\sim 3}$ は水素または $C_{1\sim 6}$ アルキル) であり、 X^1 はカルボニル、スルホニル、スルホニウム、ホスホニウム基から選択される電子誘引基であり、 $R^{1\sim 2}$ は H または $C_{1\sim 6}$ アルキルであり、 $R^{1\sim 0}$ 及び $R^{1\sim 1}$ は H と $C_{1\sim 4}$ アルキルから独立に選択され、 R^9 は任意に置換されたアルキルまたはアリールである]、

反応基、または

重合体のいずれかで置換されたいずれかの上記基からなるグループから選択される。)